



多くの人々が訪れた神戸ポートアイランド博覧会(昭和56年)



全県全土公園化構想モデル事業で緑化された学校(昭和58年)



最後の大型商船の進水式 (昭和 62 年)
(個人撮影・相生市立歴史民俗資料館提供)



大型放射光施設 SPring-8 県内建設決定 (平成元年)

大阪圏伸び率突出

平成2年
地価公示 住宅地で56.1%

姫路駅南 2.12倍
全国一
上昇率

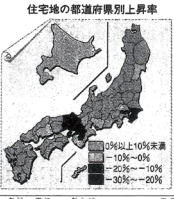
地価、17年ぶり下落

国土庁発表 住宅地は平均-5.6%

大阪圏 22.9%
ダウン

融資の総量規制効果

下都府の京都市内が独占



兵庫県下も住宅地 14.9%

国土庁が発表した平成2年地価公示によると、全国平均で住宅地の地価は前年比5.6%下落した。これは1985年以降の最低水準となった。大阪圏は22.9%下落し、全国で最も下落率が高かった。一方、姫路駅南は2.12倍の上昇率を記録し、全国一の上昇率となった。兵庫県下の住宅地は14.9%下落した。融資の総量規制効果も影響していると考えられる。

バブル期の地価高騰とその後の下落を報じる新聞
(神戸新聞(一部共同通信配信)平成2年3月23日、平成4年3月27日)



姫路城の世界遺産登録 (平成5年)

(姫路市提供)

